

令和6年度沼田まつり検討委員会（第6回）概要

□日 時：令和7年1月22日（水）午後6時58分～午後7時46分

□場 所：テラス沼田5階 第2委員会室

□出席者：○検討委員

星野市長（委員長）、山田観光協会会長、青地区長会長、須田副会頭、
今井副会頭、塩浦副会頭、須田商業部会長、山宮経済建設常任委員長、
鈴木商店街連合会長、山口経済部長、小菅専務理事

○須賀神社

栗原氏子代表、小池氏子代表

○榛名神社

金子代表、桑原氏子会長

○沼田祇園囃子保存会連合会

高羽理事長、大竹副理事長、田村副理事長、小曾根事務局長

□意見交換会

（1）持続可能な沼田まつりの実施に向けた意見交換について

持続可能な沼田まつりの実施に向け、全体及び各団体の課題を共有するための意見交換を実施した。

〔決定事項〕

- ・次回以降の検討委員会で、意見交換した内容を参考とした協議を行うこととした。
- ・次回以降の検討委員会にて、ある程度の検討結果が出た際に再度各団体を検討委員会に招待し、その内容を相談することとした。

〔主な意見〕

- 沼田まつりは沼田市民全体の大きな祭りであり、神を奉る祭りを中心として大きく発展している祭りと捉えている。沼田市も人口減少しているが、その中で少子化も非常に進んでおり、後継者となる子どもたちが本当に減っているという危機感も持っている。
- 沼田まつりの持続には、氏子、氏子総代、奉仕団の皆さんも社会の変化に対応していかなければならないという意見をたくさん伺っている。東北の祭りのように、後継者不在で祭りが中止となる。そんなことは絶対にあってはならない。
- 観光推進という意味からも沼田まつりは大きな意味を持っていると思う。市民の方や皆さんの意見を集約して祭りを持続させていっていただきたい。
- これからは金土日にも沼田まつりを実施した方がいいと思う。勤め人が多い状況でもあるなか、人口減少により企業もかなり従業員が減ってくる。そうすると休暇の取得なども制約が発生すると思うため、勤め人は金土日の開催を望むようになってくると思う。
- 東日本大震災時の話だが、祭りを盛大にやっている地域の人々は絆ができており、手を取り合う意識ができていたため生存率が高かったようである。このことも考え、祭りを盛大にやっていけば沼田で何か起きた時にも繋げられると思う。
- 金土日なら仕事を休める話をよく聞くが、多様化するこの時代で休みが土日という人ばかりではないことを理解いただきたい。沼田市在住者に平等かつ公平に祭りに参加できる機

会を与えるためには日にち固定がいいと思う。

- 小学校の統合等で本当に子どもが減少していることは実感しているところではあるが、色々な手を尽くし、子どもたちを集めて祭りを楽しくできればと考えている。各町の準備と片付け等で人が足りないことも協力していけたらと思う。暑さ対策については水分補給や休憩など、年々気を付けているので、その辺も理解いただきたい。
- 2つの神社が中心となり、みこしとおぎょんと沼田まつりが総合的に開催されている歴史がある。各々の神事としてでなく、沼田まつりでの神事として、須賀神社と榛名神社を巻き込んで総合的にやっていった方がいいのではないかな。
- 子どもたちや今増えてきている老人が、この暑さで安全に行事ができるのかが一番だと思う。異常な暑さになった時のことを考え、日程変更まで含め議論していかないと、祭り自体が本当にできなくなってしまうことにも繋がりがかねない。
- 昔なら沼田まつりに休暇を取って祭りに出てくる祭り好きな人が多くおり、一番沼田まつりが賑やかな時期には地域企業も祭りに協力するため、祭りの日に合わせた休業期間があったが、今はそういった風潮がなくなってきている。今後人口減少が進んでいくと企業に人がいなくなってしまうので簡単に連日有給取って祭り行っているとは企業も言えなくなってしまうと思う。
- 現在、団塊の世代が75歳になっており、沼田市の40%以上がこの層でもある。今はその人たちも祭りに参加しているが、もう少し時が経つと参加してもらえなくなってしまうと思う。また、若者は家で涼んでいた方がいいということで祭りに参加してくれない。そのような時代になってきていることも祭りに対して危惧するところだと思う。
- 神社みこしを大事にするなら担ぎ手を増やすような方法を考える必要があると思う。コロナ明けだと市役所の人が入ってもまだ入れるぐらい少なくなっていると感じる。
- 暑さにより参加を見送る団体が出ている状況でもある。今後祭りを継続することを考えると、現在の実施方法ではきついと思う。もし他の日に変わった場合でも全員で祭りをやっていきたいというのが私の意見。
- 祭りが大好きな人は暑くても関係ないが、来場者や参加してもらう子どもたちのことを考えると、現在の実施方法は今後1、2年で本当に厳しくなってくる気がする。神事は神事で実施し、祭りは祭りで実施するという考えでいけばだいぶ前にも進むと思う。
- 私の住んでいる地区は祭りに10件ぐらい集まっており、今年は20万円以上の寄付を集めて祭りをやっていた。他の地区もそうだが、地区で寄付金も集めて実施していることも考えていかないと、祭りから人が離れていってしまう。
- 日程のことについては先延ばしにできる問題ではないとも感じている。この場にいる方も感じていると思うが、とにかく人がいないことが課題だと思っている。
- 前回会議いただいている持続可能な祭りの実施に向けた意見は検討委員会で預かり、今後どのような方法があるのか協議したい。協議結果についてはまた相談したい。
- どこかの町でアンケートを取って結果を突きつけられても、この会議の意見は優先させたい。検討委員会で議論を積み重ねたうえで、全員でやっていく方向でないと沼田まつりは形にならないのではないかなと思っている。
- まつりが統合してから今の沼田まつりはずっと続いている事でもある。元々の軸は大事にしていかないとならないと思う。
- 熱中症について、真剣に対応していくなれば秋に祭りを変えるなど、そうゆうことしかなくなってしまうと思う。